

Inclusion インクルージョン ほんくるーびょん

○学年組織の紹介…3年生をどうぞよろしくお願ひします！

学年主任：張間 亮（地歴公民） 副主任：福士 敬之（数学）

HR	担任氏名	教科・分掌	副担任氏名	教科・分掌
31	和島理希	公民・総探/図書	伊藤剛	英語・SSH探究
32	岡田翔真	地歴・生徒指導	石田和久	数学・教務
33	中西拓朗	国語・教務/涉外	高杉瑞季	保体・生徒指導
34	羽田真央子	英語・進路指導	西村勇士	理科・生徒指導
35	福士敬之	数学・進路指導/SSH	箱田憲哉	理科・進路指導
学年付	瓜田敦也（数学・進路指導）、齋藤郁子（理科・進路指導）、平川淳一朗（体育・生徒指導）、成田 優（実教・図書）			

○3年生を始めるに当たって…「私たちは手を離します！」

自転車の練習をイメージ。君たちはもう補助が無くても乗れるようになってきた。手を離せば転ぶこともあるだろうが、手を離すからこそスピードが出て乗れるようになる。手を離した方が、自由に、遠くまで行けるという話です。

1. ここまでみんな頑張ってきた

みなさん、ここまで本当によくやってきました。種をまき、水をやり、その実は確実に育っています。模擬試験の結果を見ても、この学年はここ数年で大変良い位置にいます。いつもなら大いに喜ぶところですが、結果の話はここまで。なぜなら、これから必ずうまくいかない時期が来るからです。

2. ここから大切なのはレジリエンス(何度でもやり直す力)

努力しているのに結果が出ない。周りと比べて苦しくなる。自分を信じられなくなる。そういう時間は、全員に來ます。でも、うまくいかないことは問題じゃなく、問題なのはそこで止まってしまふこと。できない日があつても、手が止まる日があつても、次に何をやるかは自分で決めるのです！

3. そのために必要な「規律」と「秩序」

「規律」とは個人。誰に見られていなくても、やると決めたことをやり切る力。調子がいい日だけでなく、うまくいかない日でも、自分を動かす力。「秩序」とは集団。教室に入った瞬間に分かる空気、授業に向かう姿勢、互いに高め合う関係。誰かの気持ちが悪くても、周りが引き上げる雰囲気。

今年度学校経営のテーマ 「生徒真ん中 五所川原高校」

今年度学校運営の柱 「楽しい学校」と「面白い授業」



令和8年度 第3学年 経営計画（案）

1 目 標

新しい時代を主体的に切り拓く生徒を育成するため、「敬愛、叡智、進取」の姿勢を実践し、生徒それぞれの「力行天下第一」の達成を支援する。

2 経営方針

「生徒真ん中」のためにインクルージョン

生徒・教員が自身のバックグラウンドや価値観、能力を最大限発揮できる環境を整備する。

3 重点目標

- (1) 「楽しい学校」のスローガンのもと、生徒が「居場所感」を高める。
- (2) 「楽しい学校」のスローガンのもと、生徒が「貢献意識」を発揮する。
- (3) 「楽しい学校」と「面白い授業」を活用し、生徒がそれぞれの進路志望を実現する。

4 具体的実践事項

- (1) 重点目標（1）に対して
 - ① とにかく対話する。定期的な短時間面談で生徒との信頼関係を深める。
 - ② 学校で自習や学び合いのできる居場所を提供する。
 - ③ 「ASSESS」で生徒の心理的状況を定期的に把握する。
- (2) 重点目標（2）に対して
 - ① 「規律と秩序ある学校生活」への貢献を促す。
 - ② 最高学年として学校の看板を背負っている自覚を促す。
 - ③ どんな貢献を担ったかを行事や学期ごとに振り返る機会を設ける。
- (3) 重点目標（3）に対して
 - ① 生徒の志望理由の言語化を支援し、より具体的な志望理由を表現できるようにする。
 - ② 模擬試験を「学びの基礎診断」として活用し、学習状況の進捗を確認して共有する。
 - ③ 地域の進学拠点校的役割に応えるべく、進路指導部や教科担当者と連携を密にする。